

K A T A N A K O Music Marché

10/3/Sat. OPEN 18:30 / START 19:00 at TOYONAKA YUYA hall

<http://www.katokanako.com/>

かとうかなこ 7年ぶり! 地元豊中でのホール公演。
アコーディオン+色々な楽器で作り出す
色とりどりの音楽のご馳走「音楽市場 - ミュージック・マルシェ -」
たっぷりとお召し上がりください♪

Music Marché

秋のアコーディオンのご馳走

Omori Hidenori

Nakamura Naomi

Aoki Ken



豊中ゆやホール

阪急豊中駅南改札口より徒歩すぐ
TEL. 06-6846-1100

10/3 土

OPEN ▶ 18:30
START ▶ 19:00

主催: (株)ハーモニーフィールズ 後援: 豊中市、豊中市教育委員会
制作協力: スニマ企画、(有)NMG、(有)トッププロデュース

前売 ▶ 3,000円 当日 ▶ 3,500円 ※整理番号付

チケット

- ・ハーモニーフィールズ ▶ TEL. 072-774-8838
- ・ローソンチケット ▶ TEL. 0570-000-777
- ・ローソンチケット <Lコード予約> ▶ TEL. 0570-084-005 <Lコード: 58388>

出演 ▶ 大森ヒデノリ (フィドル/マンドーラ) / 中村尚美 (コントラバス) / 青木研 (バンジョー)

かとうかなこ Music Marché

ミュージック・マルシェ
秋の acordeon のご馳走

10/3 Sat.

OPEN 18:30 / START 19:00



かとうかなこ クロマチック・アコーディオン

<http://www.katokanako.com/>

大阪府豊中市出身。

4歳から父親の手ほどきを受けアコーディオンをはじめ。17歳にしてアコーディオンコンクール総合優勝を果たす。高校卒業後 フランスに渡り、4年の留学中「全仏コンクール」でも第1位を獲得する。ソロアルバムを5枚リリース。アルバムの楽曲は、多くのテレビ番組で取り上げられている。

自らの感情を委ねるように、蛇腹と呼吸を合わせながら風景の浮かぶ演奏を続けている。80歳を過ぎても演奏し続ける事が目標。楽器たちには、愛称をつけます。ステージでもメンバーとして紹介している。

クロマチック・アコーディオン

日本で主流のアコーディオンと言えば右手にピアノと同様 白と黒の鍵盤のある物に対しヨーロッパ 特にフランスではこのクロマチック アコーディオンという左右合わせて

200ほどの小さなボタンの並んでいる物が主流です。コンパクトなボディの中にものすごく沢山の音が埋め込まれており多彩な表現が可能な楽器です。



ピエコ

PIERMARIA
PRODIGEPLUS



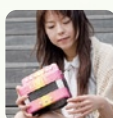
によるぎち

CAVAGNOLO



おばあちゃん

SCANDALLI



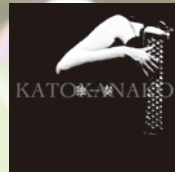
こびえ

ちびアコ

かとうかなこ 7年ぶり！地元豊中でのホール公演。
アコーディオン + 色々な楽器で作り出す
色とりどりの音楽のご馳走「音楽市場 - ミュージック・マルシェ -」
たっぷりとお召し上がりください♪



『ナミダ・なみだ』
TAKI-6003 2,800円(税込)



『独奏』
TAKI-6002 1,500円(税込)



『ボナベチ』
TAKI-6001 2,000円(税込)



『ひだまり』
STBR-3002 2,800円(税込)



『Le ciel ～空～』
CNIMA1353 2,500円(税込)

各アーティスト & 楽器紹介 個性豊かなアーティストに個性豊かな楽器 それぞれの音色をお楽しみ下さい。

ヨーロッパの歴史と伝統を身に纏う
生粋の関西人フィドラー

大森ヒデノリ フィドル / マンドーラ

<http://www.omorihidenori.com/>

スウェーデンやアイルランドの伝統音楽に欠かせないフィドル奏者としては国内屈指の存在。これまでに数々の北欧、ケルト音楽のトップ・プレーヤーとコンサートや音楽祭で共演。2007年8月にファースト・アルバム『白夜弦想』をリリース。おそらく邦人初の本格的な北欧のコンセプトアルバムとして高い評価を得ている。また2008年1月～3月にオンエアされたTBSドラマ『エジソンの母』のサントラにアイルリッシュ・フィドル奏者として参加するなど、活躍の場を広げている。



低音が天空を舞いスイングする
美しきベーシスト

中村尚美 コントラバス

<http://bass703.exblog.jp/>

岡山県出身。ジャズベースを上山崎初美氏に師事。'99年ニューヨーク国連本部、2000年東京ユニセフハウスオープニング記念では少年少女合唱団のバンドとして、皇太子・雅子様の前で招待演奏。'01年にはミュゼットジャズバンドで渡仏し、以後はNHK-FM 出演、パリ市内のライブハウス、映画「ぼくのスイング」の関西公開記念スペシャルライブ、その他関西のジャズクラブを中心とし積極的に活躍中。透明感のあるベースプレイだけでなく、作曲の才能も秀逸。ファーストアルバム「うさぎのラビット」は名盤との評価も高く、高セールスを記録している。



本場アメリカ人を驚かせた
日本屈指のバンジョープレイヤー

青木研 バンジョー

<http://sound.jp/banjo/>

千葉県流山市出身。数多くのデキシードランド / スイングジャズの演奏家をはじめ、ブルーグラス、ジャグバンド奏者、管弦楽団等と共演し、若手No.1 プレイヤーとして楽しげなステージと華麗なテクニックで観客を魅了。米JAZZ BANJO MAGAZINE、オランダ BN/DESTEM 誌、「ジャズ批評」JAZZ LIFE 誌、管弦楽器パラダイス等で特集記事が組まれる。ソリストとして演奏することのできる日本では数少ないバンジョー奏者。



フィドル



クラシックのヴァイオリンと同じ構造ですが、舞踊の伴奏など民族 / 大衆音楽で使用される場合にこの名称が使われます。大森が得意とするアイルランド / スウェーデンの伝統音楽でも主要な楽器の一つとして演奏されています。またフィドルは昔からこのように言い表されてきました。

「ヴァイオリンは歌う、しかしフィドルは踊る」、「フィドルにビールをこぼしてもだれも泣くものはいない」

マンドーラ

大型マンドリンとも言われ、1960年代のフォークリバイバル以降、マンドリン、ブズキーなどと共に、アイルランドや北欧の伝統音楽で使用されるようになりました。コンサートで登場する マンドーラは、10年ほど前に京都で制作され、大森ヒデノリが様々な伝統音楽に対応すべく改良したものです。

『白夜弦想』
SHCD0001 2,800円(税込)



コントラバス

ウッドベースや、ダブルベースなど様々な名称があります。コントラバスは音楽の底辺を支える土台となる楽器です。縁の下の力持ち的存在で地味ですが、ベース次第で音楽の方向性も変化させる事ができる、「寡黙で威厳のある父親」の様…。



『うさぎのラビット』
2,000円(税込)

4弦バンジョー

一般にバンジョーとは 5弦の事をさします。4弦バンジョーは、ピックを持ってリズムをかき鳴らしたり単音でメロディーを弾いたりする奏法が代表的で、デキシードランドジャズ、アメリカ民謡、戦前の日本音楽などで使われています。青木研の陽気なバンジョーをお楽しみください。



『Banjo On Stage!』
APCD-2014
2,835円(税込)